

# L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝語)】

2014年2月号

No.92



雪が少ない冬ですね～ これも偏に皆さんのハンドボール熱のおかげでしょうか！ 寒さを吹き飛ばしてガンバレ岩手のハンドボーラーたち！



## 大崎カップは新人戦優勝チームが共に栄冠を勝ち取る！

第19回を迎える大崎カップ中学生ハンドボール大会が、1月25日～26日、紫波総合体育館及び矢巾町総合体育館で開催されました。例年より時期が早い開催となりましたが、寒さが一瞬和らいだ週末に、中学生たちが熱気あふれる試合を展開してくれました。

男子・花巻中は初日の第一試合に、新人戦を制覇した下小路中と一戦を交えました。下小路中は落ち着いた試合運びで得点を重ねていきますが、対する花巻中はDFを崩すことがなかなかできず、単発なシュートのみ。花巻中は今ひとつ粘り強さに欠けたプレーが続く、前半大差をつけられると後半も失速し、結果的に29-3という大敗を喫しました。ここまで来たらあとは這い上がるのみ！悔しさを忘れずに、次回の大会に向けて奮起してほしいです。

男子・花巻北中は城西中との初戦。前半を9-8の1点リードで折り返すと、後半は勢いに乗って差を広げ、最後は1年生チームを出す余裕も持ち、21-16で勝利を飾りました。続く2回戦は大宮中との対戦。前半は互角の展開を繰り広げ、8-8の同点でハーフタイムを迎えます。しかし、両バックプレーヤーの調子が今ひとつ上らず、後半はサイドからの得点でなんとか食い下がりますが、最後は20-17で惜しくも敗退しました。花巻クラブジュニアOBも多い世代なので、なんとか次回大会では上位目指して頑張してほしいですね！



女子・花巻北中は、男子と同じく城西中が相手となりました。こちらは接戦となり、実力的には大差がなかったものの、いいところでミスが出てしまいリズムに乗ることができません。そのまま終盤を迎え、同点をねらったシュートもゴールならず。残念ながら12-11の1点差で初戦敗退となりました。悔しさをバネにして大きく成長することを期待したいと思います。

女子・花巻中は、春の全国中学生大会出場を控えているだけに、今大会も頂点に立って岩手県代表チームの座を固めたいところ。いい試合をして全国大会につなげようという思いを再確認し、戦いの場に臨みました。第一試合の紫波一中戦、続く大宮中戦ともに、激しいDFからボールをインターセプトしての速攻という展開に持ち込み、翌日の準決勝に駒を進めました。準決勝でぶつかったのは矢巾北中。この日もDFで相手の攻撃の芽を摘み取り、相手の得点を最小限に抑え、11-3と大幅なリードを奪って後半に突入。矢巾北中も粘りをみせ、後半はほぼ互角の得点となりましたが、花巻中が22-13でゲームを制し、堂々の決勝進出を果たしました。

一方、逆ブロックでは大宮中のエースがマンツーマンで徹底的にマークされ、得点シーンに絡むことができません。矢巾中が終盤に逆転に成功すると、左腕エースの中村歩夢選手がダメ押しのシュート。決勝戦は矢巾中と花巻中の一騎打ちとなりました。JOC報告会を挟んで迎えた決勝戦。花巻中はスタートから3連取すると確実に得点を重ねていきます。DFでは長身エースの中村選手を徹底して厚く守り、相手に得点のチャンスを与えません。センターバックで体を張ってDFし、攻撃では速攻とリバウンドからのシュートで貢献した島澤郁選手の活躍が光りました。11-3で前半を終え、花巻中が優勝に王手をかけたかに思われまし



たが、矢巾中も最後まで粘り強く戦い、終盤は怒涛の攻撃を見せます。しかし、最後までリードを守りきった花巻中が18-13で勝ち、久しぶりの大崎カップ優勝！新人戦では優勝の瞬間、嬉し涙に泣き崩れた選手たちでしたが、今回は勝つべくして勝ったというような雰囲気がありました。まだ課題もありますが、今回の優勝をいいステップにして、春の全国大会では大きく羽ばたいてほしいと思います。

なお、トップDFで花巻中をリードした中村宥希キャプテン、体を張ったプレーと鋭いフェイントでチームに貢献した清水杏奈選手、そして走力がアップし、OF/DFともに大きな成長が見られた畠澤郁選手が優秀選手賞に選ばれました。今後の活躍にも是非注目です！

## 日本リーグ花巻大会はダブルヘッダー！地元選手も勝利に貢献☆



第38回日本ハンドボールリーグは、2月8日土曜日に2試合がここ花巻の地で開催となりました。今回は花巻市ハンドボール協会が主管として大会運営を引き受けたことにより、10月に続き今季2回目の岩手県開催に至りました。また、近隣の金ヶ崎町にトヨタ自動車東日本(前・関東自動車)の工場がある縁から、宮城県にホームを構えるトヨタ自動車東日本が来花しての試合となりました。寒さに関わらず、会場には約1200名の観客が集まりました。地方大会では集客でトップクラスの岩手大会。これには選手たちも喜んでいました。

試合に先立ち、小学生による前座試合が行なわれました。U-8、U-10、高学年男女の4つのカテゴリーで県内少年団の合同チームを作り、短い時間でした

が交流を深めながらの楽しいゲームが展開されました。

さて、第一試合は宮城県から出場のトヨタ自動車東日本レガロツ！地元・花巻出身の遠山賢治選手(花巻北中→盛岡南高→中央大)、そして盛岡市出身の上野承太選手(盛岡南高→日本大)が所属しており、試合に先立ちこの2名に花束と記念品が贈呈されました。対するはトヨタ紡織九州レッドトルネード。いよいよ熱戦の幕開けです。呉選手のシュートで先制したトヨタ紡織は、変則的なDFで積極的に仕掛けて相手のミスを誘い、序盤をリードする形になりましたが、トヨタ自動車東日本も3-3DFからサイドシュートや速攻で得点を重ね、追い上げを図ります。前半23分ついに同点に追いつくとその後のリードを許さず、15-15のままハーフタイムに突入します。第一試合のハーフタイムには、わんこ兄弟とフラワーロールちゃんのマスコットがGKとなり、小学生たちのシュートを受けるというアトラクションが行われました。後半、トヨタ自動車東日本10番玉井選手が、小さい体ながらも現在リーグ得点王の意地を見せ、得点を量産していきます。トヨタ自動車東日本が徐々にリードを広げる中、地元花巻市出身の遠山選手の活躍もあり、後半25分で31-27と優位に。退場者も多く激しい試合となりましたが、34-29でトヨタ自動車東日本が勝利を飾りました。「本当に勝ててよかった」と中川監督も満足そうな表情でした。

なお、この試合でトヨタ紡織九州の呉選手、村上選手がともに通算800得点を達成し、試合に華を添えてくれました。



ことができず。トヨタ車体ペースのまま試合が終了し、34-18という結果で熱戦の幕が閉じられました。試合後には選手たちによるサイン会や景品抽選会も行われ熱気が冷めやらぬままの大会終了となりました。関係者各位に感謝です！

続く第2試合は、現在日本リーグ首位を走るトヨタ車体と北陸電力の対戦。昨年6月に、トヨタ車体の藤本純季選手が銘苅淳選手(現ハンガリーリーグ所属)とともに花巻で講習会を開いてくれた縁もありますし、一方、北陸電力には、東日本大震災の際に、様々な支援活動を牽引してくれた櫛田亮介選手がいます。まず先制点を決めたのは、トヨタ車体のルーキー熊谷選手。北陸電力もすぐさま対抗し、前半10分過ぎには同点、そして前半12分赤塚選手の得点で逆転に成功。しかし、すぐ同点にとなり、前半20分までは一進一退の攻防が続く展開となりました。前半終盤、トヨタ車体が速攻で連取すると15-11とリードし、前半を折り返しました。この試合のハーフタイムショーは、花巻中・花巻北中ハンドボール部による国体ダンスの披露。この日のために練習を重ねたダンスで、見事に会場を盛り上げてくれました。さて、後半開始早々、トヨタ車体が3連取し、一気に7点リードとします。北陸電力も反撃を試みますが、トヨタ車体木下GKの好セーブにより得点につながらません。トヨタ車体は速攻で得点を重ね、後半23分15点差までリードを広げます。北陸電力は川添GK、有江GKが好セーブを連発しましたが、点差を縮める

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)  
2014年2月号  
2014年2月25日発行  
発行:花巻市ハンドボール協会  
Special thanks to リトルハンド様、  
岩手ハンドボール応援ページ様